

フォルテピアノで聴く  
ベートーヴェン珠玉の名曲コンサート

# デンハーグピアノ 五重奏団



フォルテピアノ  
Anton Schwardring  
アントンシュヴァルトリンク  
1835年頃 ブラハ (旧オーストリア)



### 【プログラム】

ベートーヴェン/エグmont序曲 作品 84  
フンメル/ピアノ五重奏曲 変ホ短調 作品 87 より  
シューベルト/ピアノ五重奏曲 イ長調 作品 114「ます」より  
ベートーヴェン/ピアノソナタ 嬰ハ短調 作品27-2「月光」より  
ベートーヴェン/ピアノ協奏曲 第3番 ハ短調 作品 37 ほか

ベートーヴェン  
生誕250年記念  
スペシャル企画による  
特別編成



# 2020 5.10日

開演 15時〔開場 14時30分〕  
富山県高岡文化ホール  
大ホール

全席指定 一般 **3,000円** (当日 3,500円) 高校生以下 **1,000円** (当日同額)

音楽友の会  
会員招待



プレイガイド  
アーツ・ナビ URL <https://www.arts-navi.com/> (富山県高岡文化ホール、富山県民会館、富山県教育文化会館、新川文化ホール)

【主催】：富山県高岡文化ホール音楽友の会  
【共催】：(公財)富山県文化振興財団富山県高岡文化ホール、富山県、北日本新聞社、富山テレビ放送  
【後援】：高岡市、高岡市教育委員会

※公演中の一時保育を希望される方は、公演日の2週間前までにお申し込みください。(無料)



フォルテピアノで聴くベートーヴェン珠玉の名曲コンサート

# デンハーグピアノ五重奏団

世界的にも珍しいフォルテピアノ、ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、コントラバスの楽器編成によるピアノ五重奏団。2009年、オランダ、ユトレヒト国際古楽音楽祭でデビュー後、2011年、第16回ファン・ワセナール国際古楽コンクール（オランダ）にて第1位を受賞。2012-2013年、オランダにて同コンクール優勝記念公演を行ったほか、バルセロナ国際古楽音楽祭（スペイン）、サント国際古楽音楽祭（フランス）、アントワープ国際古楽音楽祭（ベルギー）、ヨーク国際古楽音楽祭（イギリス）などヨーロッパの主要な国際古楽音楽祭に多数招聘されている。

2012年にはデビュー作品「19世紀における珠玉のピアノ五重奏作品集 Vol.1」(MAレコード / キングインターナショナル)をリリース。日本国内においてもオリジナル楽器による室内楽の普及に積極的に努め、日本各地の主要コンサートホールによる主催公演に出演するなど、その活動を広げている。

また、2017年よりNHK-BSプレミアム「クラシック倶楽部」にてデンハーグピアノ五重奏団～古楽器で聴く19世紀の響き～が放送されている。オフィシャルウェブサイト：<http://denhaagpianoquinte.wix.com/denhaagpianoquintet>



小川 加恵 (フォルテピアノ)

東京藝術大学古楽科修士課程フォルテピアノ専攻修了。オランダ、デン・ハーグ王立音楽院修士課程フォルテピアノ科修了。国内外でソリスト、アンサンブル奏者として活躍。ユトレヒト古楽音楽祭（オランダ）、バルセロナ国際古楽音楽祭（スペイン）、サント古楽音楽祭（フランス）、アントワープ古楽音楽祭（ベルギー）

など、ヨーロッパの主要な古楽音楽祭に招聘されている。第16回ファン・ワセナール国際古楽アンサンブルコンクール（オランダ）第1位受賞。日本国内におけるオリジナル楽器による室内楽の普及に積極的に努め、これまでに日本各地の主要コンサートホールによる主催公演に多数出演。第8回浜松国際ピアノコンクールにおいては関連事業として、レクチャー及び室内楽公演を行った。また、国立音楽大学音楽研究所「楽譜を読むチカラ」プロジェクトにて講師を務めたほか、2018年、第31回国際古楽コンクール「山梨」にて審査員を務めた。その他、テレビ朝日「題名のない音楽会」やNHK-BSプレミアム「クラシック倶楽部」にてデンハーグピアノ五重奏団演奏会～古楽器で聴く19世紀の響き～が放送されるなど、メディアへの出演も多数。



山本 徹 (チェロ)

◎井村 眞人

東京藝術大学大学院古楽専攻、チューリヒ芸術大学修了。2008年第16回ライプツィヒ国際バッハ・コンクール第2位、2011年ブルージュ国際古楽コンクール審査員賞、ファン・ヴァッセナール国際コンクール優勝。2010年度文化庁新進芸術家海外研修員、2011年度ロームミュージックファンデーション奨学生。バッハ・コレギウム・ジャパン、オーケストラ・リベラ・クラシカなど主要な国内外のオリジナル楽器オーケストラのメンバーとして定期公演・録音・海外ツアーに多数参加する他、根本卓也氏との《ジュゴンボイス》、また2018年には渡辺祐介氏らとオリジナル楽器オーケストラ《オルケストラ・アヴァン = ギャルド》を創設するなど、活動の場を広げている。東京藝術大学での集中講義、シンガポール国立大学音楽院でのマスタークラスなど後進の指導とオリジナル楽器の普及にも力を入れている。2006年に第2位受賞の国際古楽コンクール「山梨」では2017年に審査員を務める。

オフィシャルウェブサイト：<https://scordatoru.wixsite.com/toru-yamamoto>



角谷 朋紀 (コントラバス)

東京藝術大学器楽科、デン・ハーグ王立音楽院修了。特にウィーン式のコントラバスについて調査・研究を重ね、イギリスの音楽雑誌「The Viol」(2010年 No 18号)にその記事が掲載される。ジョン・エリオット・ガーディーナー、シグスヴァルト・クイケン、コンラッド・ファン・アルフェンなどの指揮者のもと、「イングリッシュ・バロック・ソロイスト」、ラ・プティット・バンド、「シンフォニア・ロッテルダム」など数多くのオーケストラ、アンサンブルにて演奏している。2011年、デンハーグピアノ五重奏団のメンバーとして第16回オランダ・ファン・ワセナール国際アンサンブルコンクール第1位、同時に最優秀演奏者賞を受賞。2019年、第32回国際古楽コンクール「山梨」では審査員を務めた。

オフィシャルウェブサイト：<https://tomokisumiya.weebly.com/>



池田 梨枝子 (ヴァイオリン)

東京音楽大学、及び同大学院音楽研究科修了。市川市文化会館新人演奏家コンクール、大阪国際音楽コンクール、日本クラシック音楽コンクール、日本アンサンブルコンクール等に受賞。大学卒業後古楽に傾倒し、東京藝術大学大学院修士課程（バロックヴァイオリン専攻）修了。2017年第30回国際古楽コンクール（山梨）第2位。翌年同コンクールの推薦で栃木、甲府でリサイタルを行う。オーケストラ・リベラ・クラシカ、バッハ・コレギウム・ジャパン、オルケストラ・アヴァン = ギャルドなどのオリジナル楽器のオーケストラ、アンサンブルに多数参加。

2017年、第30回国際古楽コンクール（山梨）第2位。翌年同コンクールの推薦で栃木、甲府でリサイタルを行う。オーケストラ・リベラ・クラシカ、バッハ・コレギウム・ジャパン、オルケストラ・アヴァン = ギャルドなどのオリジナル楽器のオーケストラ、アンサンブルに多数参加。



秋葉 美佳 (ヴァイオリン)

桐朋女子高等学校音楽科在学中からバロックヴァイオリンを副科で専攻、桐朋学園大学弦楽器科在学中よりバッハコレギウムジャパン等での活動を始め大学卒業後に渡欧。バロック・バイオリン及びバロック・ビオラでブリュッセル王立音楽院を首席修了。ブリュッセル音楽院在学中にはベルギー・フランダーズ政府

給費留学生、文化庁在外研修員に選ばれる。ブリュッセルとハーグ王立音楽院との合同オーケストラ・プロジェクトでは両校を代表してハイドンの協奏交響曲のソリストに選ばれた他、La Petite Bande のツアーでもフランスはナントでのラ・フォル・ジュルネ音楽祭等にソリストとして参加、ベルギーの Beloeil における Nuit Musicale Festsybal ではブランドンブルク協奏曲2番と5番をチェンバロのロペール・コーネンと共にソリストを務めている。その後もブリュッセルを拠点に Bach Collegium Japan, Les Agrémens, Ricercar consort, La Petite Bande, Il Gardellino, Ensemble Pygmalion, B'Rock Orchestra, Bach Concentus, Quatuor Dialogues, Le Banquet Céleste, Les Talens Lyriques, Orchestra Libera Classica 等のメンバーとして欧米各国やアジア、日本での演奏活動を行っていたが2017年に帰国。これまでに Klara, ACCENT, DHM, BIS, RICERCAR, Mirare, DENON, エイベックス・クラシック等の録音にも参加しており数々の CD でディアパゾン・ドールを獲得。



中田 美穂 (ヴィオラ)

相愛大学音楽学部卒業後、ヴィオラに転向。渡欧し、ヴィオラ及び室内楽の研鑽を積む。国内外の数々の音楽祭・演奏会に出演。NY州 Amati 音楽祭にて Promising Award 受賞。長岡京室内アンサンブルの数々の演奏会・録音に参加。オリジナル楽器奏者としても活躍。ヴィオラスペース 2016 に出演。Zaza Quartet では、ガット弦によるベートーベン弦楽四重奏全曲演奏に取り組んでいる。東京バロックプレイヤーズメンバー。

Quartet では、ガット弦によるベートーベン弦楽四重奏全曲演奏に取り組んでいる。東京バロックプレイヤーズメンバー。

## ■ 今回使用楽器 (フォルテピアノ) について

Anton Schwardring



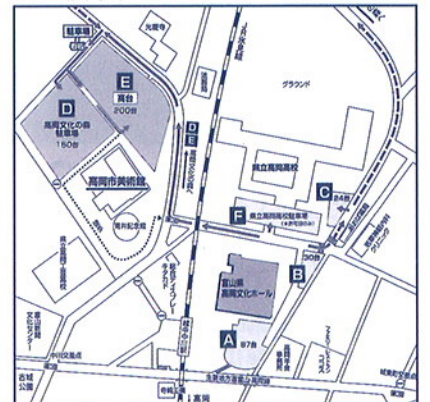
アントン シュヴァルトリンク 1835年頃 プラハ (旧オーストリア) 製作

アントン シュヴァルトリンクが製作された頃、プラハはオーストリア帝国の支配下にあった。ピアノ作りの中心であるウィーンからは、遠く離れた所にあるが、ウィーンの伝統を持つ柔らかさと東欧の香りが感じられる。

6オクターブ半の音域を持つこのピアノには、従来の形からは新しい機構が幾つか見られる。1830年頃までのグランドピアノの底板が張られていたが、この頃から従来のピアノ製作の考え方が変わってきて底板はもはや張られないようになった。すなわちオルゴールの箱のように共振板が箱の中で響くと言う考え方が、底を蓋することによって響きが妨げられ、遠くに音が伝わらないと言う風に考えた。この形は今日のグランドピアノに受け継がれている。

このピアノの最低音から5鍵は鉄線の上に真鍮線を巻き質量を大きくし、より強い張力で、重厚な低音を得ようとした。鍵盤のナチュラルキーの表面には真珠層を持つ貝が張られ、シャープキーには金箔が下地に張られ、その上にべっ甲がかぶせられている。

## ■ 会場案内図



## 富山県高岡文化ホール

〒933-0055 高岡市中川園町13番1号 TEL (0766) 25-4141 FAX (0766) 25-4332  
URL: [www.bunka-toyama.jp/takabun/](http://www.bunka-toyama.jp/takabun/) E-mail: [takabun@1.coralnet.or.jp](mailto:takabun@1.coralnet.or.jp)

- 駐車場の台数には限りがございますので、できるだけ公共交通機関をご利用ください。
- 未就学児のご入場はご遠慮願います。
- 公演中の一時保育をご希望される方は、公演日の2週間前までにお申込みください。(無料)
- 公演の内容は、都合により変更になる場合があります。